



## 【目次】

チェコ内政の現状	P2
チェコ外交の現状	P13
最近の日チェコ関係	P17

令和6年3月  
在チェコ日本国大使館・政務班  
塚本公平

# チェコ内政の現状

# フィアラ政権の現状

2021年10月の下院選挙で政権交代。5党連合による中道右派のフィアラ政権が発足。

- ✓ 反バビシュ(ANO)を掲げる野党が結束して変化を求める有権者を動員
  - ✓ 市民民主党(ODS)を中心とする連立SPOLUが躍進し、中道右派の議席数が大きく拡大
  - ✓ 社会民主党、共産党が史上初めて議席を失い、伝統的左派が下院に不在に
- フィアラ政権は、民主主義や法の支配等の基本的価値を重視。ウクライナ情勢を受けて軍の近代化やエネルギー源のロシア依存脱却等に注力。
- 国内では、物価高騰対策等について国民から不満あり。



この2年間で支持率は低下



フィアラ首相

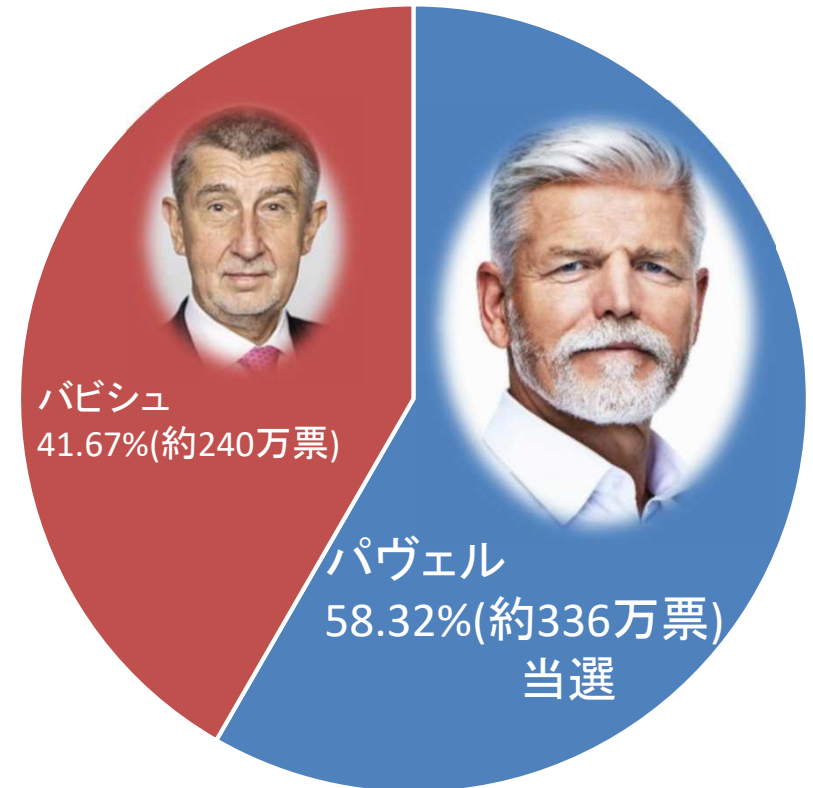
マサリク大学の元学長で元教育大臣。専門は比較政治学と欧州政治。

# 2023年1月 大統領選挙

## 決選投票(1/27-28)

### 第1回投票(1/13-14)

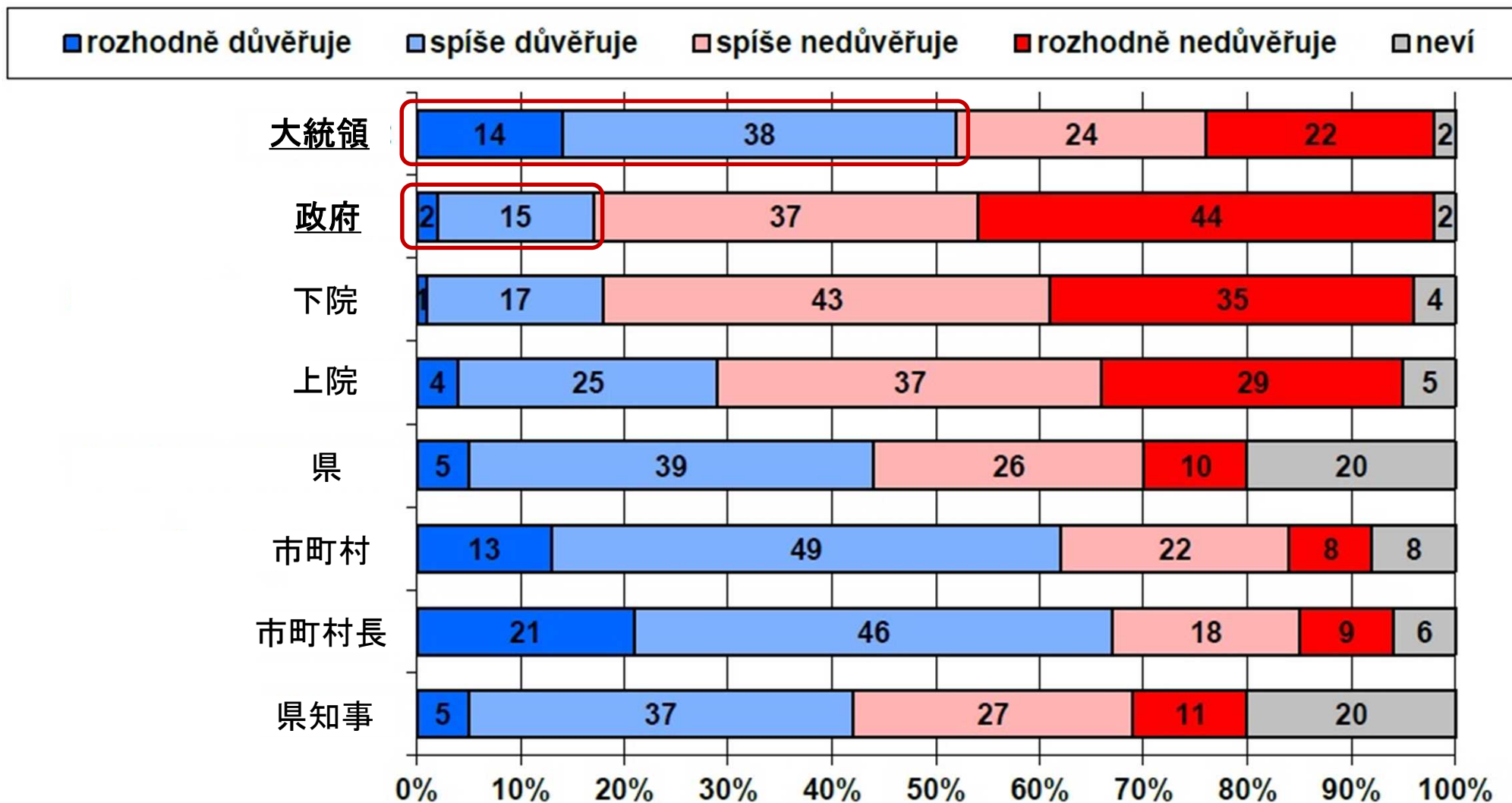
候補者名	得票率
ペトル・パヴェル(退役軍人、無)	35.40%
アンドレイ・バビシュ(前首相、ANO)	34.90%
ダヌシェ・ネルドヴァー	13.92%
パヴェル・フィシエル(上院議員、無)	6.75%
ヤロスラフ・バシュタ(下院議員、SPD)	4.45%
その他3名	4.49%



2023年3月、元チェコ軍参謀長のパヴェル候補が選出され、大統領に就任。対中露脅威認識を有し、NATO・EUを重視する現政権の安全保障・外交政策と方針が一致。

# 現時点における大統領、政府等への信頼度

※青が「信頼する」、赤が「信頼しない」を表す。

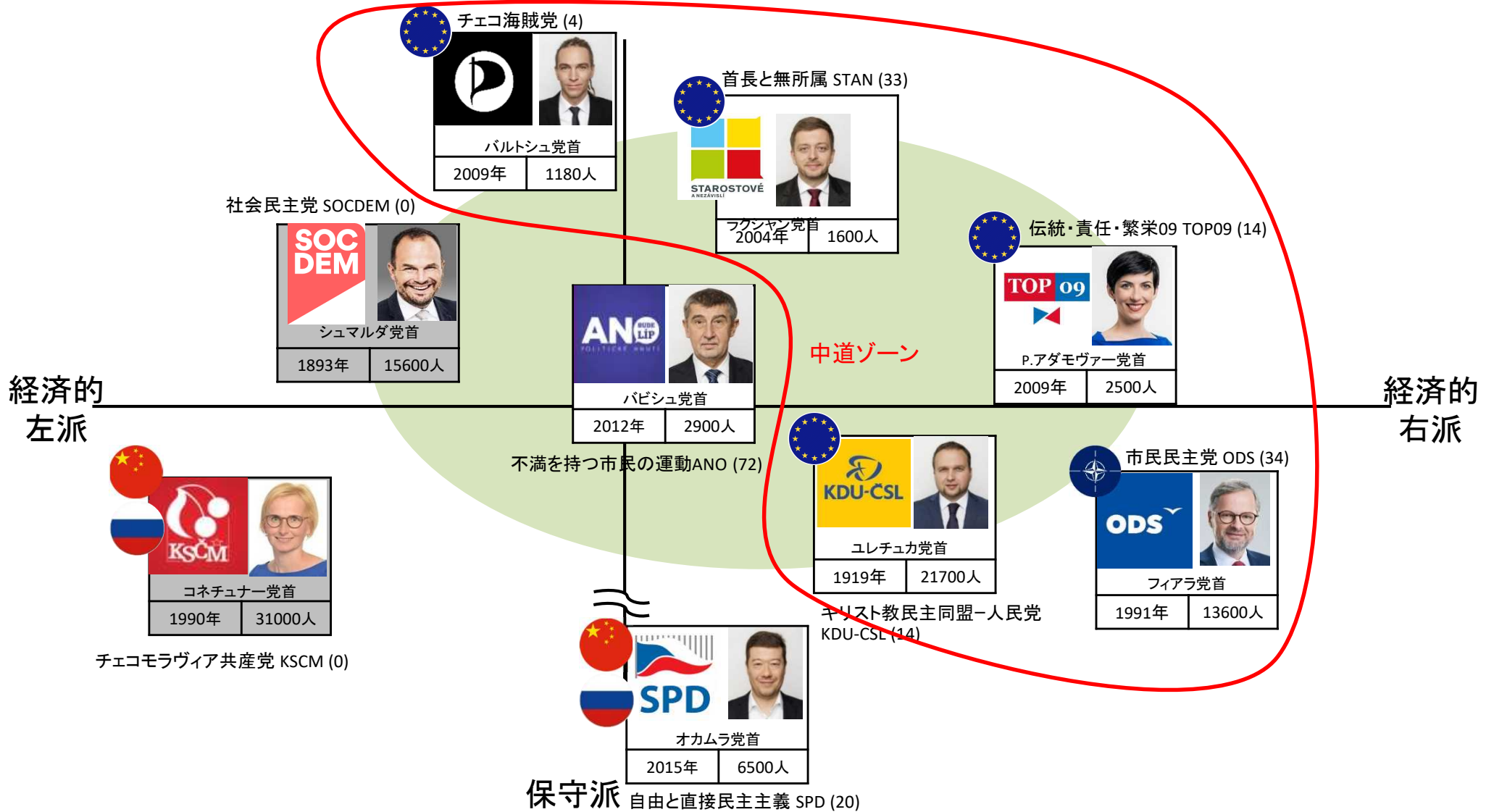


Zdroj: CVVM SOÚ AV ČR, Naše společnost 28. 9. – 4. 12. 2023, 913 respondentů starších 15 let, osobní rozhovor.

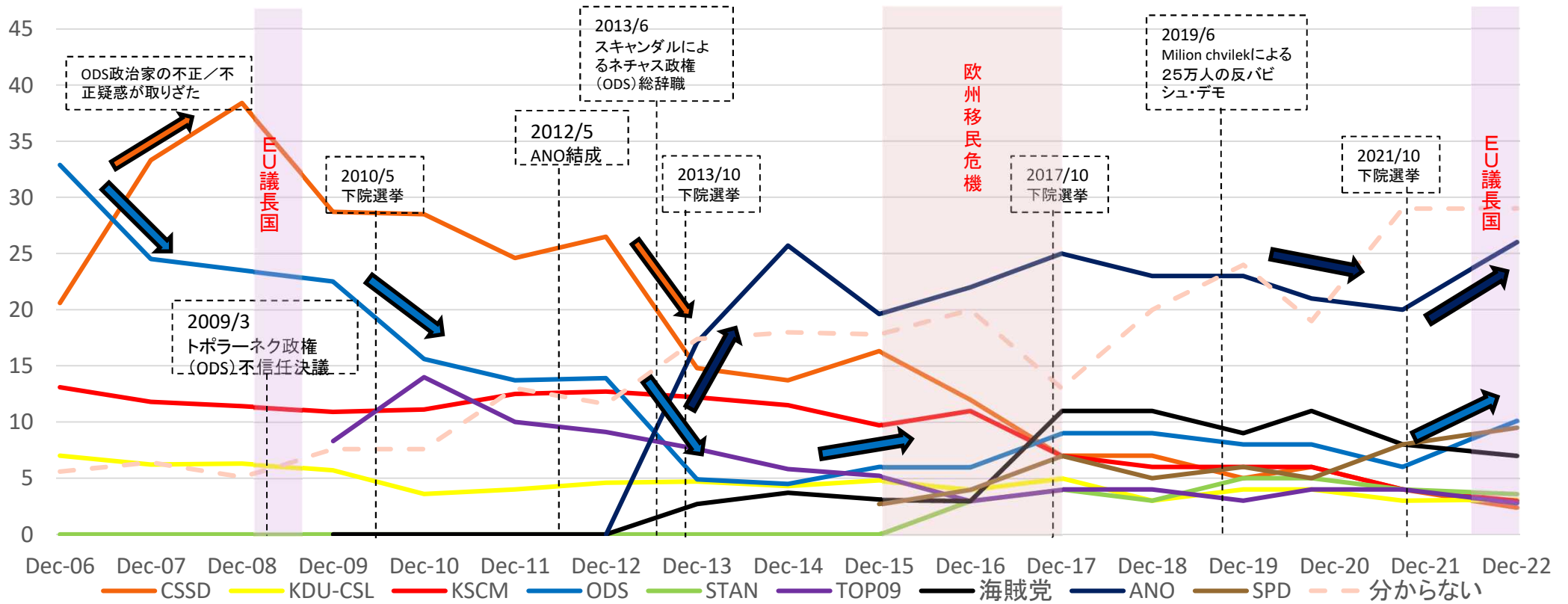
# チェコの主要政党

Kieskompas (オランダの調査会社), カレル大学社会学部学生、iRozhlas.czの共同調査(2021.8)より  
括弧内は下院での保有議席

## 革新派

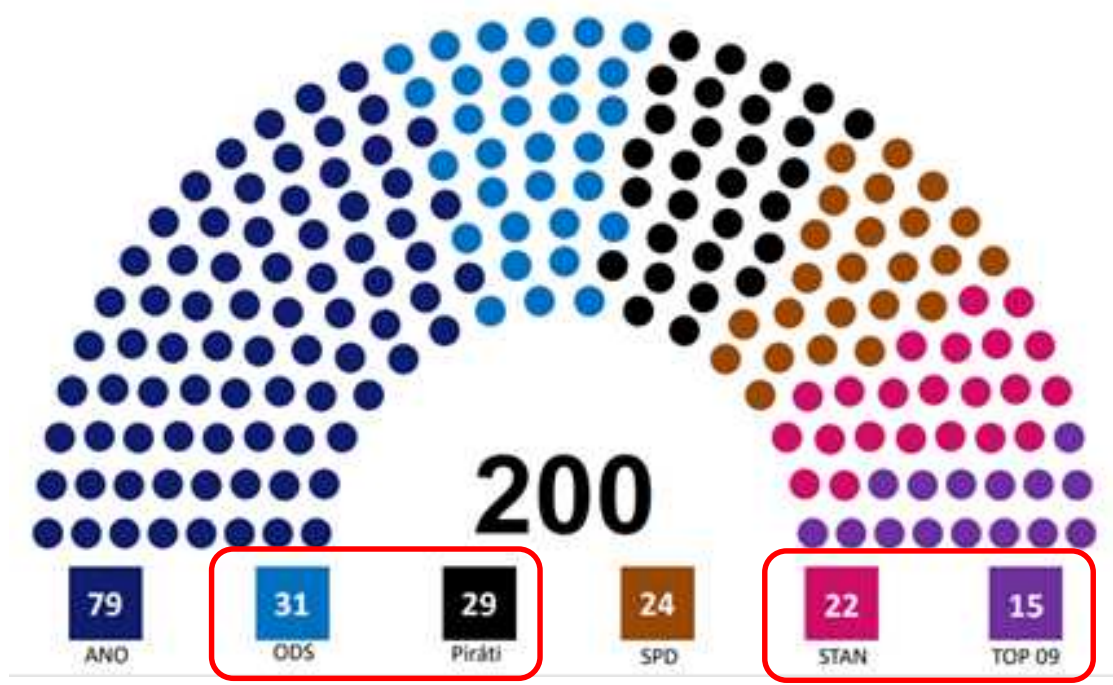
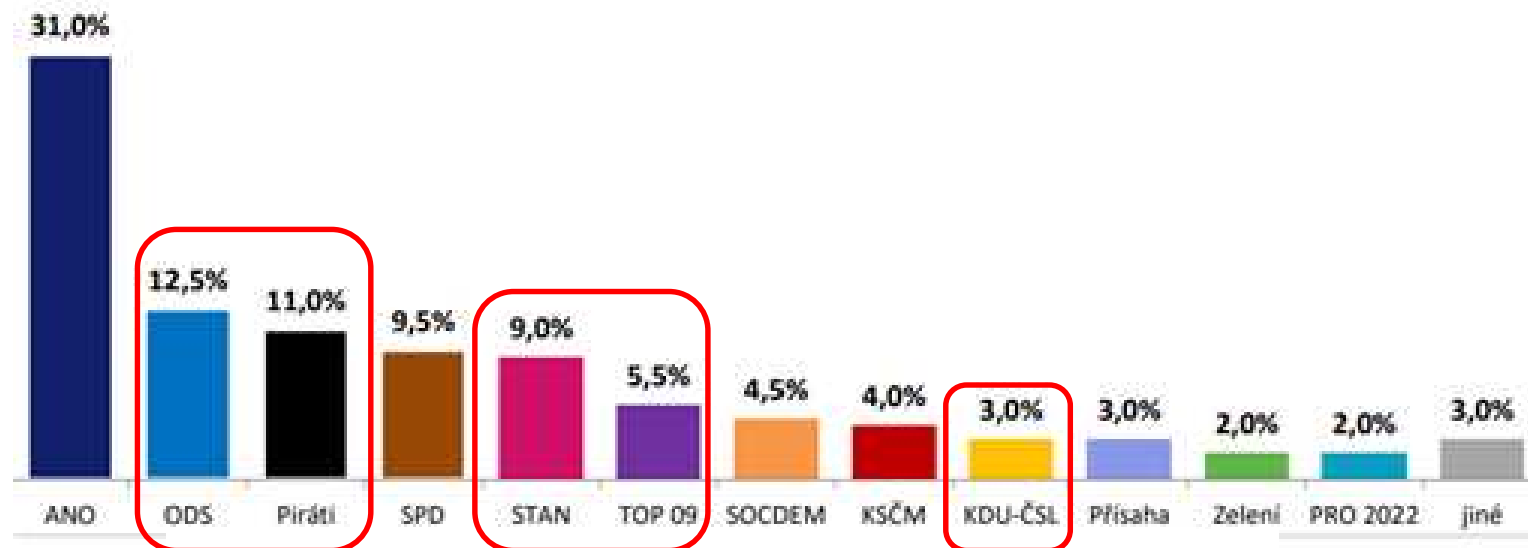


# 各党支持率変遷(2006/12~)



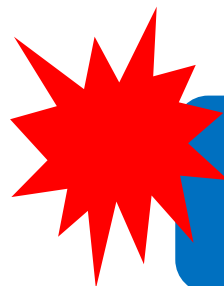
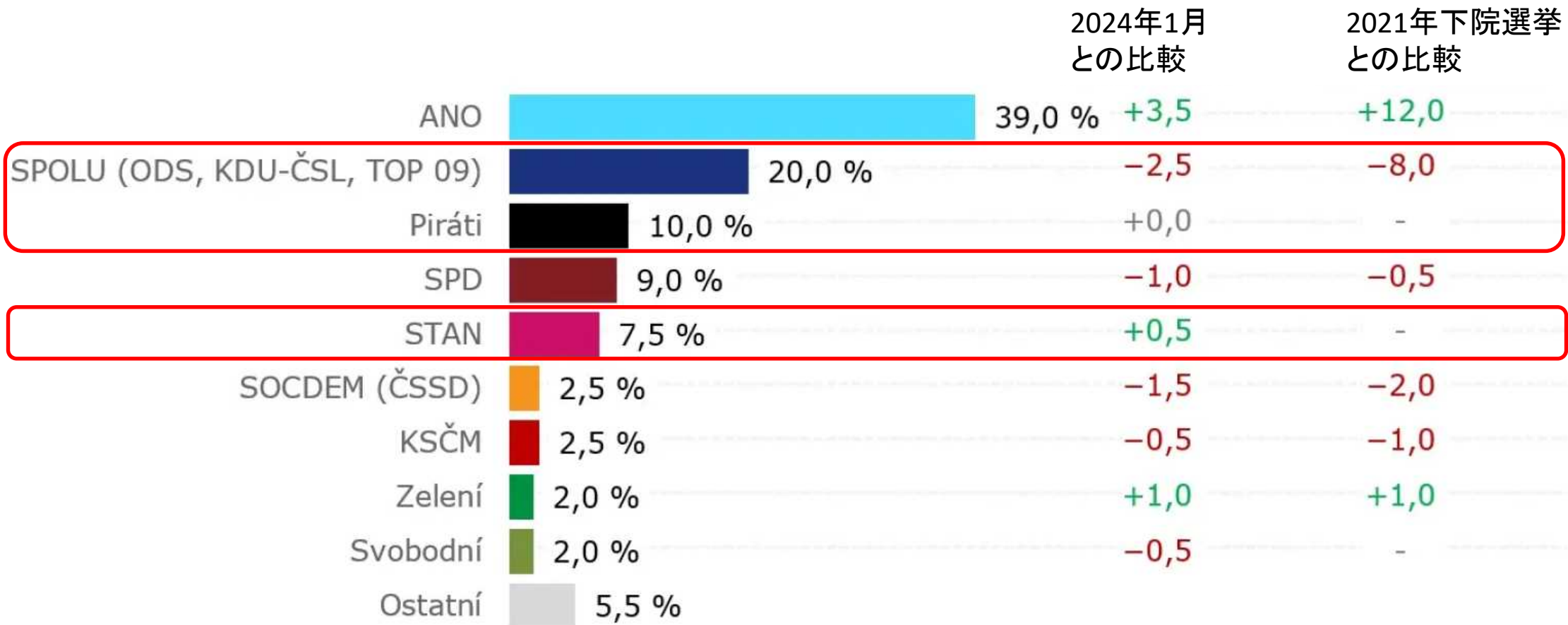
出典:STEM

# 政党支持率に関する世論調査結果(2月) ① 出典: Median





# 政党支持率に関する世論調査結果(2月) ② 出典: Kantar CZ



来年の下院選挙に向けて、与野党の対立は激化



# チェコ共和国の議会制度(下院)

## 構成・概要

### ◆ 構成

下院: **200名**(うち、政権与党議席108議席)

### ◆ 任期

下院: 4年。議会期中の解散あり。

### ◆ 選挙権

18歳以上の国民。

### ◆ 被選挙権

下院: 21歳以上の国民。

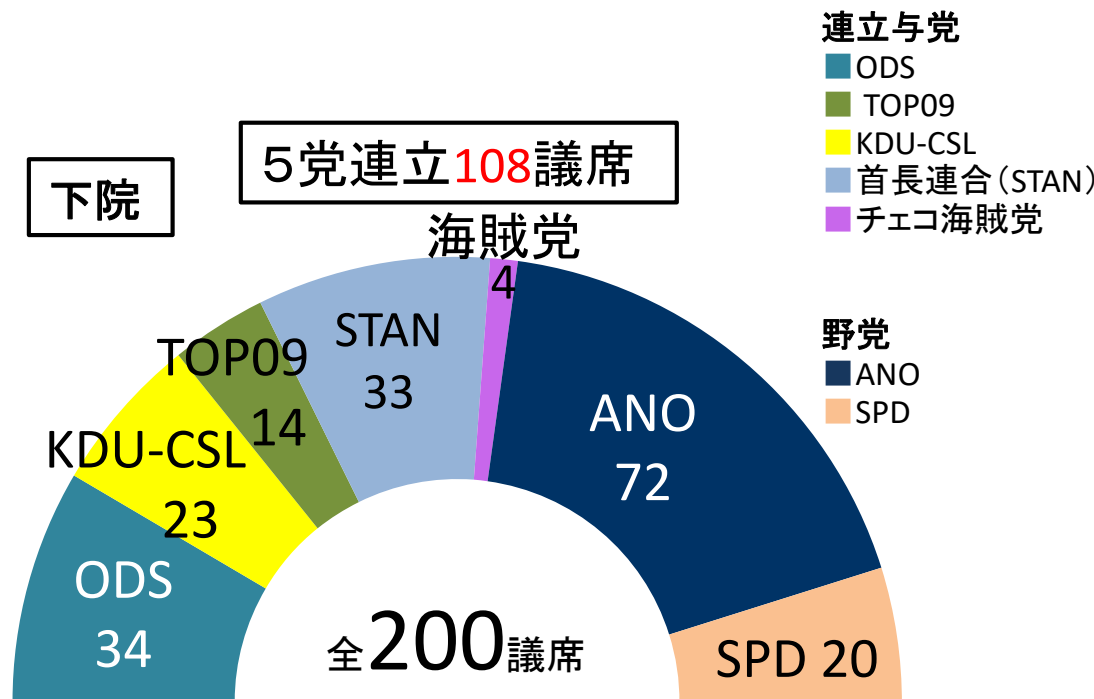
## 選挙制度

### ◆ 下院

比例代表制(14選挙区。議席獲得には得票率5%以上必要。)

## その他(下院の優越)

下院のみが予算案・決算案を審議・票決し、内閣信任・不信任を表明する権限を有する。また、法案は下院先議(上院で否決されても再可決可能)となっているなど、下院が優越している。



※2021年下院選挙では、ODS、KDU-CSL、TOP09の3党が右派連合を、STANと海賊党が中道連合を結成。結果的に5党による連立政権が発足。



# 来年秋に下院選挙

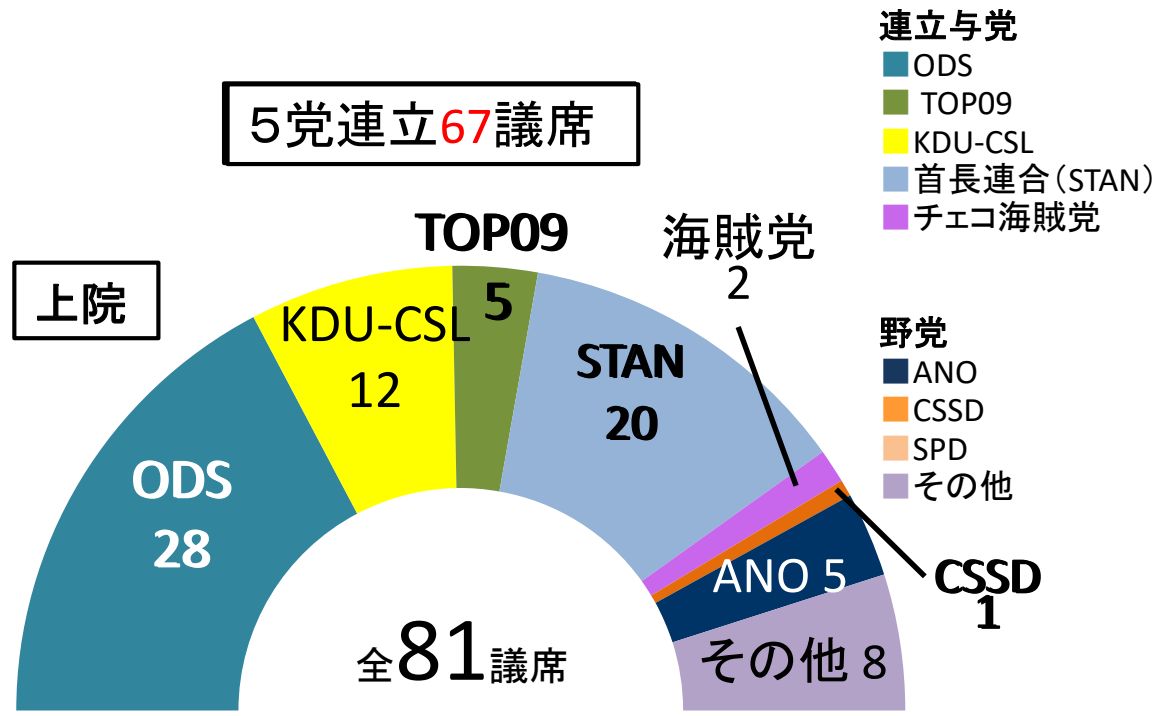
## 構成・概要

- ◆ **構成**  
上院: **81名** (うち、政権与党議席67議席)
- ◆ **任期**  
上院: 6年(2年毎に1/3議席を改選)。
- ◆ **選挙権**  
18歳以上の国民。
- ◆ **被選挙権**  
上院: 40歳以上の国民。

※22年上院選挙においても現政権側(ただし18年以降すでに現与党系が過半数)が勝利

## 選挙制度

- ◆ **上院**  
小選挙区制(81選挙区。第1回投票で50%以上の得票者のみ当選。第1回投票の上位2候補者で決選投票。)



→ **今年秋に上院選挙(1/3議席)**

# 今後の政情見通し

与党系政治家のスキャンダル

低い内閣支持率  
(17%)

✓ 2025年下院選挙をも見据えた  
政権運営。

野党による政権批判

社会の分断



# チェコ外交の現状

# 外交・安全保障

- EUとの協調、NATOを基軸とする安全保障が基本路線（今年はチェコのEU加盟20周年、NATO加盟25周年）。
- EUの中で存在感を高めウクライナ支援及び対露制裁の方向性を決める上でも重要な役割を担う。
- NATOでの存在感拡大を狙い、23年7月、軍備近代化を含む国防能力の増強及び国防費GDP2%を法制化（24年予算より執行）。
- 東アジアで日本が置かれている厳しい安全保障環境を理解。23年6月安全保障戦略を改訂し、中国を「体系的挑戦」と位置づけ。



# フィアラ政権の1年

(外交、国防、エネルギー安全保障)

## ウクライナ支援・対ロ制裁

- パヴェル大統領のウクライナ訪問(2023年3月)
- 弾薬提供イニシアティブ
- 約40万人のウクライナ避難民への庇護
- チェコにある露国有財産の凍結
- 露外交官のシェンゲン域内での自由な移動の制限の提案



## 露へのエネルギー依存からの脱却

- 原油、天然ガス輸入先の多角化

## 軍の近代化

- F35の導入決定
- 米国との防衛協力強化



## インド太平洋戦略

- 2022年9月、インド太平洋戦略を策定
- 今年2月のリパフスキー外相の日本、豪州、印訪問



# 多国間(マルチ)外交でのチェコ

## パヴェル大統領の2023年国連総会ハイレベルウィークにおける一般討論演説

「我々は、中国の台湾海峡における緊張を高める軍事行動と、南シナ海のパートナーに対する非友好的な行動に遺憾の意を表す。いかなる紛争や問題も平和的に解決されなければならない」、「北朝鮮やイランは、核や大陸間弾道ミサイル開発の無謀なエスカレーションと透明性の欠如が相まって、国際的・地域的な安全保障を脅かしている。」

## 軍縮外交の場における協力

- 2022年8月の核不拡散条約(NPT)運用検討会議にて、北朝鮮の核・ミサイル開発を含む東アジアにおける軍拡の現状に懸念を表明。
- 2023年8月のALPS処理水の海洋放出直前のタイミングで開催されNPT運用検討会議第1回準備委員会では、国際原子力機関(IAEA)及び日本の立場を支持。
- 日本が国連総会第一委員会に提出している核兵器廃絶決議の共同提案国。





# 最近の日チエコ関係

# 日チェコ首脳会談

(2023年7月12日、於リトアニア)



## ➤ 二国間関係

- 岸田総理は、パヴェル大統領の就任に祝意を表した上で、日チェコ外交関係樹立30周年となる本年、戦略的パートナーシップの下で策定された「行動計画」に基づき関係を一層強化したい旨発言。
- 岸田総理は、チェコ人建築家により設計され、日チェコ関係の象徴でもある原爆ドームに言及し、先日のG7広島サミットでも各国首脳が被爆の実相を触れられた点を紹介。

## ➤ 国際・地域情勢

- 両首脳は、ウクライナやインド太平洋の地域情勢についても議論し、力による一方的な現状変更の試みは認められないことや経済安全保障分野でも連携を進めることで一致。

# 日チェコ外相会談

(2024年2月29日、於東京)



## ➤ 二国間関係

- 上川大臣は、チェコが「インド太平洋戦略」を策定し、この地域への関与を深めていることを高く評価。リパフスキー大臣は、投資や観光分野を含む経済面での協力強化に期待を表明。

## ➤ 国際・地域情勢

- 両外相は、ウクライナやインド太平洋の地域情勢についても意見交換し、欧州とインド太平洋の安全保障は不可分であり、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を維持・強化し、世界の平和と安定に向け連携すること、両国がウクライナ支援で緊密に連携していくことで一致。
- 加えて、両外相は、東アジアや中東情勢を含む地域情勢について意見交換を行い、核・ミサイル問題や拉致問題を含む北朝鮮への対応や安保理改革を含む国際場裡での協力等を含め、緊密に連携していくことで一致。
- 両外相は外相会談後、日・チェコ航空協定に署名。